

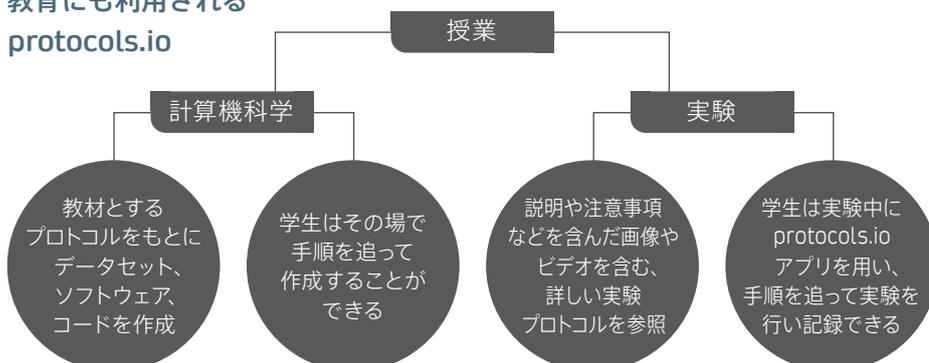
研究の再現性を保つことは、信頼性、再利用の観点から非常に重要です。しかし、多くの場合、詳しいメソッドは共有されておらず、共有されていても、非公開、不完全、また有料である場合も少なくありません。protocols.ioはプロトコルの体系化やシームレスな共同開発作業を可能にし、メソッド開発における功績の獲得や認知度の向上を実現させる、オープンアクセスプラットフォームです。

protocols.ioの特長

- 再現可能なメソッドを開発、整理、共有するための安全なプラットフォーム
- シームレスなコラボレーションを促進し、ハイレベルな研究の公正性を保証
- プロトコルはDOI付で公開でき、すべての研究者によるアクセスを促進
- 再現性のある数万点ものプロトコルへのアクセスを可能にし、研究成果に高い透明性をもたらす

Open Research 無料アカウント	有料個人アカウント (左記に加え)
<ul style="list-style-type: none"> • プライベート・プロトコル2点まで登録可能 • 公開プロトコル、公開ワークスペース無制限 • 公開バージョンとフォーク (fork) 無制限 • 各プロトコルとバージョンにDOI付与 • ORCIDおよびCROSSREFとの連携 • 資金提供機関や出版社方針に準拠 (再現性向上) • 長期的な保存 (CLOCKSS)とミラーリング (Internet Archive、GitHub) 	<ul style="list-style-type: none"> • 無制限のプライベート・プロトコル • プライベートで安全なワークスペース • 実験記録ノートの共有 • カレンダーベースのタスク管理 • 試薬管理 • トレーニング • 専用サポート • エクスポートとバックアップなど
機関ライセンス (上記に加え)	
<ul style="list-style-type: none"> • プロトコルインポートサービス • SAMLシングル・サインオン • HIPAAサポート • 21 CFR Part 11の監査証跡と電子署名 	<ul style="list-style-type: none"> • 年間最大4回のトレーニングウェビナー • 機関リポジトリとの統合 • パートナーページでのブランディング • 利用分析

教育にも利用される protocols.io



再現性の向上



オープンリサーチのさらなる促進

「カリフォルニア大学サンフランシスコ校 (UCSF) では、機関ライセンスの導入後7カ月でユーザー数は2倍、プライベート・プロトコルの数は3倍近くに増えました。protocols.ioはUCの研究者にとって、より厳密で再現性のある研究手法を取り入れることにつながると期待しています」

Anneliese Taylor
Head of Scholarly Communication
UCSF

protocols.io 無料アカウント作成
protocols.io/welcome



protocols.io についてさらに詳しく
go.sn.pub/protocolsio

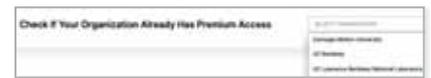


アカウント登録 : protocols.io/welcome



所属機関がライセンスを所有しているかどうか確認できます

protocols.io/institutions



実行/フォーク (fork) する公開プロトコルを見つける



公共ワークスペースを見つけて参加する



protocols.ioでプロトコルを管理、開発する



protocols.io は

- 総ユーザー数: 180,000名以上
- 公開プロトコル: 17,500以上
- プライベートプロトコル: 70,000以上
- ひと月当たりの平均ビュー: 200,000
- 2022年の訪問者: 100万以上

さらに2024年6月、
Protocols Exchangeのプロトコルが
protocols.ioに移行します
go.sn.pub/ProtocolsExchange

ご利用のメリット

- 研究データやプロトコルの管理と共有
- チームワークを簡素化、コラボレーションを向上
- 時間の節約と業務の効率化

シュプリングネイチャーの
メソッド・プロトコル製品

SPRINGER NATURE
Experiments
nature protocols
nature methods
nature reviews
methods primers